

ほけんだより

学校保健
委員会
特別号

令和7年
10月8日
東中保健室
第11号

学校保健委員会を開催しました。

10月2日（木）本校会議室にて学校保健委員会を開催しました。

学校薬剤師の馳澤先生、近隣小学校の養護教諭、PTA役員の方々にご出席いただき、今年度の学校保健に関する計画や健康診断、新体力テストの結果等について協議しました。

また、臨床心理士の矢澤さときスクールカウンセラーより、WISC検査について講演をしていただきました。概要を以下に掲載いたします。



WISC-V知能検査について

臨床心理士 矢澤 カウンセラーより

【WISC-V知能検査とは】

- 『Wechsler Intelligence Scale for Children』の頭文字を取った検査。（Vは「第5版」）

【WISC-V知能検査をお勧めする例】

- 学力が低い、知識が定着しづらい、文章を書くのが苦手。
- 一斉指導で行動するのが苦手、指示理解が苦手。
- 抽象的な概念を理解することが苦手。
- 板書を写すことがゆっくり。
- コミュニケーションが苦手、感情のコントロールが難しい。
- 先の見通しを立てるのが苦手。



【WISC-V知能検査でわかること】

◎本人が苦手としている事や苦手な能力、それに対する本人・家族・支援者等の対処法。

～具体的にわかること～

- ★その子に合った勉強のやり方。
 - ★その子に合った声掛け。
 - ★その子の苦手とする場面や作業、それらの対応方法。
- ◎子ども本人も、本人用の結果説明を聞くことで自己理解が進む。
- ★強みを知ることで自信に繋がる。
 - ★苦手を知ることで生活や学業でどんな工夫をしたらよいかがわかる。



※数値で示されるためわかりやすい。



指導講評

学校薬剤師 馳澤 先生 より

【オーバードーズ(OD)について】

- オーバードーズ(OD)とは

医薬品を決められた量を超えてたくさん飲んでしまうこと。

→特に若者の間に広がっており、『高校生の約60人に1人』がODを経験したことあり。

最近では小・中学生の間でもODをする子が出てきている。

- なぜODをしてしまうのか？

→一般的に考えられるがちな「快樂のための使用」というよりも、つらい気持ちを紛らわすために使用している実態がある。(居場所がない、自分に自信が持てない、孤独で寂しい…)

- もし、身近な人がODをしていたら…

→頭ごなしに怒らない。本人の気持ちに寄り添う。※支援者も一人で抱え込まない。

